



街を颯爽と歩くあの姿、
パリジェンヌに憧れて

今シーズン届いたmod's hairのスタイル定期便、モチーフはパリジェンヌ。自由におしゃれをし、仕事を楽しみながらも私生活を大切にする、彼女達は人生の達人。たとえパリ生まれでなくとも重要なのは、都会のリズムに乗ったその生き方とこの街が好きなこと。それでも一つ、mod's hairのカットがあれば、もう憧れは自分のもの。

Try! タウ

これぞ掃き溜めに鶴?
雑踏に広がる大海の恵み



BAL北筋のギンギン界隈の中で、妙に匂うオヤジ臭。その扉の奥では、祇園で名を馳せたダイニングバー「ダディーズ・デボ」のマキノ氏が、天然魚貝を大盤振る舞い。他店が尻込みするほど安い新鮮刺身と、直球タイプの一品料理は「もう、ウケとかいいや！」という創作料理への決別のメッセージなのだ。

#1 BREE KYOTO ブリー キョウト



■京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町103
スパイラルスペース103-1F
075-721-4767
●11:00~20:00/無休
<http://www.bree.co.jp>

#2 mod's hair 北山店 モッズヘア きたやまてん



■京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町1セレス北山2F
075-722-2600
●10:00~19:00/水休
【メニュー】カット4700円 カラー5750円~
バーマ750円~

初めての靴が滋味を増した頃 BREE KYOTOが16年目へ

11月7日迄アニバーサリー企画を実施。詳しい内容はスタッフまで。
ドット柄のパンチングを施した「MEDUSA」34650円(税込)、
24150円(手前)。ベーグルバッグ
をモチーフにした「Simply」
19950円(全11色)



鉛色に色付いたヌメ革のバッグがステイタスとなつた'90年代、その要となつたのは日本第一号の専門店・BREE KYOTOだった。'89年のオープンから16年目を迎える今シーズン、薄く軽快な質感や多彩なカラー展開に象徴されるように、進化を重ね愛用され続ける本当の価値を改めて確認する時。



花街風情も
またひと味
室町から
変わらぬ直球中華



室町で旦那衆に愛食されていた時代から数え、来年で祝50年。京都で指折りの老舗中華店は、ここ白川沿いに移転後も変わらず親子3代に渡って愛され続ける優良店。創作ブームにも惑わされず、素材を活かした直球の中華を供し続ける真摯な姿勢…それはご主人の人となりを皿に映したまつとうな広東料理。もちろん古川町商店街のご家族もご贊同に。

創業からの人気メニュー「春巻」
1050円、「白きくらべ入り里芋のふかひれスープ」2000円、「蓮根横頭の松茸入りあんかけ」2個2000円、「杏仁豆腐」大400円。「きをん」と付いても決して敷居は高くない

#3 広東料理 ぎさん森幸



■京都市東山区白川筋知恩院橋上ル西側556
075-531-8000
●11:30~14:00 (L.O.13:30)
17:00~21:30 (L.O.21:00) / 水休
【平均予算】昼 1000円 夜 3000円

#4 魚紹 ぎょしん



■京都市中京区河原町通六角BALビル北筋東入ル
クリオൺビル1F
075-212-8661
●17:00~24:00/月休
【平均予算】3500円